### このコーナーでは、 連携組織の活性化に意欲的に取り組む県内の組合事例等をご紹介します!

### ■ 車業の無再

■ 争果の概要				
補助事業名	平成25年度組合等新分野開拓支援事業			
対 象 組 合 等	協同組合佐原信販			
	▼組合データ			
	理 事 長 鈴木	大 重夫	住 所	香取市佐原イ525
	設 立 昭和	口 27 年 6 月	業種	小売業、飲食店中心の異業種
	会 員 64)	人(平成25年3月31日現在)		
テ ー マ	組合員の経営体質強化及び地域コミュニティ再構築のための新たな取り組み			
担 当 部 署	千葉県中小企業団体中央会 商業連携支援部 (Tel 043-306-3284)			
専 門 家	Eマネージメント研究所 所長 江波戸 勝 (中小企業診断士)			

ます。 物弱者対策などが必要となってい おり、 の世帯は一般世帯の2割にもなって 社会となっています。高齢者のみ ており、 毎年1%程度の人口減少を来たし 取市は人口 高齢者の生活支援及び買い 高齢化率は29%で超高齢 が8万3千人で

街は、 況が続いています。 在80空き店舗を抱えて厳しい状 舖 パートが閉店してからは、 ていましたが、 中心商店街としての機能を果たし 以前は2店の大型店があり、 で構成されています。 舗数300店 地を形成する11の商店街で、総店 が徐々に発生してきており、 当組合の組合員が所属する商店 香取市佐原地区の中心商業 (空き店舗を除く) 平成16年に老舗デ 街区内には 空き店 地域 現

年間 組合員数も減少してきています。 店を余儀なくされている状況で、 型店の閉店に加えて中小商店も閉 を支え続けてきましたが、 原地区商業の中心商店街として60 当組合は昭和27年設立以来、 地域住民の豊かな消費生活 老舗大 佐

> す。 摘され、今後の発展のためには個 地域商業の衰退要因として、魅力 であることを再確認したところで の商店の魅力づくりが必要不可欠 的な店舗が少ないという結果が指 ケート調査を実施したところ、当 事業の一環として、地域住民のアン

期待されていることも確認されま えている当地域において、 ミュニティの再構築のための事業が を図るためには、超高齢社会を迎 また、これからの当組合の存続 地域コ

て、 新たな展開に向けた取り組みとし の経営体質の強化を図ることが必 ての事業を行うことにより、 を実施するとともに、組合事業の 員等の企業体質の強化を図る事業 これらの結果を踏まえて、 地域コミュニティの担い手とし 組合

# 業の活動内容

り設定し、そのスローガンのもとで 各種の事業を進めていくこととし 際して、 組合の構造改革へ 組合のスローガンを次の通 0 取り組みに

組合等新分野開拓支援

要となっていました。

### 個店の魅力の創出 高齢者に配慮した環境づくり 住民のニーズ 一店逸品研 まちゼミの 高齢者にも安 地域活動に 地域支え合 開催による 究会の開催 心して使用で 参加した人 い事業に商 取り組む事業 による個店 人的資源の きる単機能型 にポイントを 品券を活用 活用と人材 のMDの見 ポイントカード 付与する事 する事業 の育成 直し、売場 システムへの 更新 構成組合員等の体質強化 地域コミュニティの担い手 期待する効果 と担い手の育成 としての地位の確立 100年企業(組合)の実現

する事業 構成組合員等の体質強化に資

賑わいを」の三方よしの事業とし |規顧客と売り上げを」:「街には 「お客様には満足を」・「お店には

客との信頼関係の醸成

①「まちゼミ」の開催による顧

ました。

年。これからもずっと・・・百年企 「豊かなくらしを支え続けて60 (組合)を目指して」

ちゼミ」を当地域においても実施 商店街のファンづくりを行うもの て全国各地で実施されている「ま 信頼関係の醸成を図り、 個店の魅力の再確認と顧客と お店と



## 2 店逸品研究会開催事業

向上を図り、組合員企業の客数増 しをすることで、地域住民から強 みを促進させ、 的な運営に資するものです。 い要望が上がっている個店の魅力 『店経営者の経営革新への取り組 売上効率を高め、 店逸品研究会の開催により、 個店のMDの見直 組合の安定

めの新たな取り組み 地域コミュニティ再構築のた

実績に加えて、 ント売上高も3億5千万円という カードホルダーが18千人で、ポイ ジット機能付きのカードを採用し、 ICチップを埋め込んだクレ 「組合の行っているカード事業 毎年300名を超

> 透し、 ます。 える新規加入者がいることから、 カード事業は地域住民の生活に浸 支持を得ているものといえ

ました。 ドの老朽化が目立っていたため、新 入から14年を経過しており、ハー ど使われておらず、システムも導 たなシステムを導入することにし ただ、クレジット機能はほとん

導入することにしました。 ライト式カードシステムに変更し するために、ポイント機能のみのリ 減するとともに、 ては、 して使用できるカードシステムと 新規カード発行手数料の負担を軽 今後のカード事業の運営につい システムの維持管理費及び 高齢者にも安心

加した人にポイントを付与する事 事業」と「地球環境保全活動に参 参加した人にポイントを付与する た新たな事業として、「地域活動に 業」を行うことにしました。 また、ポイントカードを活用

今後の

展望

### 事業の成果

を活用し事業化に取り組んでおり これらの事業の実施に際しては、 の地域中小商業支援事業補助金

玉

催して、それぞれの事業について理 「まちゼミ」「一店逸品研究会」はそ 解を深めています。 れぞれ専門家を招いて勉強会を開

作業を進めています。 ら新しいカードに切り替えるべく カードシステムの更新は、 4月か

することが可能となり、 されるとともに、加盟店でも発行 たりの発行経費が十分の一に削減 これにより、新規カードの一枚当 よいものとなります。 使い勝手





ード端末)

(カ

しています。 4月~5月にかけての開催を目指 在は参加店の募集を行っており 4番目の開催地となる予定で、 一まちゼミ」 の開催は、 県内では 現

ことが進展すればオール佐原での 開催の話が持ち上がっており、この 「一店逸品研究会」については、 佐原商店会連合会との共同

その成果が期待されます。 活動効果もより大きなものとなり、 の取り組みが加速され、地域での わせて、地域商業者の構造改革へ 取り組みとなり、「まちゼミ」と合

携を検討しています。 する「地域支え合い事業」との が助けを必要とする高齢者を支援 齢社会の中で地域の元気な高齢者 柱である商品券発行事業は、 また、当組合事業のもう一つの 超高 連

いえます。 経済の活性化にもつながる事業と 品券を活用することにより、 感があり、 高齢者には気軽に利用できる安心 働き甲斐を提供し、 この事業は、元気な高齢者には その謝礼として地域商 助けが必要な 地 域

くことを考えています。 体や福祉団体との連携の可能性 み分けが重要で、 材センターで行っている業務との棲 存の社会福祉事業やシルバー この事業を実施するうえでは、 実施に向けた研究を進めて 地域のNPO 团